

令和6年度 第1回DMO全国会議へ参加

(ブランディング)

9月3日(火)、全国346のDMO(2024年4月26日時点。候補DMO46団体を含む。)を対象に観光庁が開催した「令和6年度 第1回DMO全国会議」に参加しました。

開会の挨拶では、萩川観光庁長官から、「地域にとって観光が何のためにあるのかということ、観光は狭く捉えると、旅行会社や旅・ホテルということになるが、地元の様々な産業が1つの目標に向かって話し合い、地域の個性、特性を生かし、作戦を立てデータを取りながら取り組んでいくことが必要」との話がありました。

第1部の基調講演では、観光庁の長崎観光地域振興部長から「観光の現状と今後の取組」について、(株)小西美術工藝社のデービッド・アトキンソン代表取締役社長から「DMOの役割」について講演があった後、先駆的DMO(※)から各団体での取り組みの発表とパネルディスカッションが実施されました。

第2部の各DMOからのPR時間では、希望する33のDMOから全国に向けたPRが行われ、四国域内のDMOからは(一社)小豆島観光協会と当機構がPRを行いました。当機構は、「四国が『サステナブルアイランド』になるために：四国『持続可能な観光推進ネットワーク』の活動について」と題して、PRを実施しました。

今後も、観光庁や関連するDMOと連携を図りながら、四国観光の推進を図ってまいります。

※モデレーター：JTIC.SWISS(スイス日本語インフォメーションセンター) 山田代表

パネラー：(一社)せとうち観光推進機構 坂元事業推進本部長、(一社)気仙沼地域戦略 菅原理事長

(一社)富山県西部観光社 林口ディレクター、(一社)豊岡観光イノベーション 川角事業本部次長

(開催日) 2024年9月3日(火) 13:00～16:00

(開催場所) 中央合同庁舎2号館 地下2階 議堂(東京都)

(機構参加者) 桑村本部長、松本統括副本部長



<萩川長官による開会挨拶>



<パネルディスカッションの様子>



<当機構からのPR>

2024年度 四国ツーリズム創造機構 第1回意見交換会を開催

(ブランディング)

9月9日(月)、高知県高知市で、協賛会員、顧問、高知県内の会員の皆さまと意見交換会を開催しました。

意見交換会では、冒頭、桑村本部長からご挨拶を申し上げた後、今年度当機構が取り組んでいる32事業のうち、持続可能な観光(サステナブルツーリズム)や四国観光・旅アプリ「しこくるり」、アドベンチャートラベルなどを中心とする22事業について、現在の進捗状況をご説明させていただきました。また、ご出席いただいた協賛会員の四国4県の担当者から、各県での取り組みなどについて、ご案内いただきました。

意見交換会に引き続いて開催した交流会では、会員の皆さまとの交流を深めながら、改めて、四国の観光振興に向けて取り組んでいくことを確認いたしました。

なお、第2回意見交換会を11月19日(火)に徳島県で開催いたします。既に開催のご案内をさせていただいておりますが、協賛会員、顧問、徳島県内の会員の皆さまからの多数のご参加をお待ちしております。

次ページへ続く

(実施日時) 2024年9月9日(月)

(実施場所) ザ クラウンパレス新阪急高知(高知県高知市)

(参加者) 意見交換会: 70名、交流会: 55名 ※機構職員を除く

(機構参加者) 半井代表理事、桑村本部長 ほか9名 ※代表理事は交流会から参加



<意見交換会の様子>



<交流会での乾杯の様子>

元宇高連絡船船長の萩原幹生さまから「切り絵」を寄贈いただきました

(ブランディング)

9月11日(水)、元宇高連絡船船長の萩原幹生さまから、四国の名所などを描いた「切り絵」56作品を寄贈いただき、贈呈式を執り行いました。萩原さまは、船長時代から連絡船などの切り絵を制作して船長室に飾られていたことから、「切り絵船長」として、新聞などの各種メディアで、度々、取り上げられており、四国旅客鉄道(株)を退職後も、四国八十八ヶ所霊場をはじめとする四国の各地を巡りながら、400点を超える数多くの作品を制作されてこられました。この度、高齢となったことなどを理由に、作品を整理していくなかで、作品の一部を当機構に寄贈いただく運びとなりました。

寄贈いただきました作品は、当機構が実施・参加するイベントや商談会で展示するなど、四国の魅力発信に活用させていただきます。

(実施日) 2024年9月11日(水)

(実施場所) サンポートホール高松65会議室
(香川県高松市)

(出席者) 萩原幹生さま

(機構参加者) 半井代表理事 ほか5名



<記念撮影: 作品「屋島展望台より」とともに>



<作品「JR四国トロッコ列車(祖谷溪)」>



<作品「面河溪」>



<作品「沈下橋」>

(一社) 広島県観光連盟

(一社) セとうち観光推進機構と意見交換等を実施

(ブランディング)

9月13日(金)、当機構のブランディング戦略のひとつである観光分野におけるDMP(データ・マネジメント・プラットフォーム)について、先進的に導入と活用を進めている(一社)広島県観光連盟と、現在導入を進めている(一社)セとうち観光推進機構を訪問して、担当者の皆さまと意見交換などを行いました。

(一社)広島県観光連盟への訪問では、DMPの自走化に向けた管理体制やデータのチェック体制などについて意見を交わしました。意見交換のなかでお伺いした視認性の高いダッシュボード(※)の構築や組織内での活用推進に関する取り組みなどについて、当機構内でのDMPの利活用推進に活かしていきたいと思います。

一方、(一社)セとうち観光推進機構へは、今年度、国が実施する「地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業」の一環として、専門家として清水CMOが訪問させていただきました。専門家の視点から助言などをさせていただきながら、共通する目標や課題などについて、意見交換を行うなど、DMPに関する知見を深めることができました。

今回の訪問で得られた知見や関係団体との繋がりを活かしながら、引き続き、DMPの活用を推進してまいります。

※グラフや分布図などのさまざまなデータをまとめた画面。

(実施日) 2024年9月13日(金)

(訪問先) (一社) 広島県観光連盟(広島県広島市)

(一社) セとうち観光推進機構(同上)

(機構参加者) 清水CMO、井上マネジャー



<広島県観光連盟での意見交換の様子>

2025年日本国際博覧会協会と

西日本の広域連携DMO4団体で共催セミナーを開催

(ブランディング)

大阪・関西万博開催まであと200日となった9月25日(水)、西日本の広域連携DMO4団体((一財)関西観光本部、(一社)山陰インバウンド機構、(一社)セとうち観光推進機構、当機構)と(公社)2025年日本国際博覧会協会との共催で、「大阪・関西万博に向けた最新の動きと観光ポータルサイトの活用」と題して、オンラインセミナーを開催しました。

セミナーでは、万博を契機としたビジネス機会を活かしていただくために、万博の観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」への商品掲載を中心に、掲載できる商品の基準や関連システムである「JTB BOKUN」での登録方法などについて、日本国際博覧会協会の山川さまと、(株)JTBEリアソリューション事業部の秋葉さまから解説をいただきました。

観光ポータルサイトの活用により、四国を含む西日本の各地域の魅力をより多く発信することで、万博期間中のみならず、その後の継続的な誘客につなげていくことができるよう、今後も関係団体と協力しながら、引き続き取り組んでまいります。

(実施日時) 2024年9月25日(水) 10:00～11:30

(開催方法) オンライン開催(Zoomウェビナー)

(機構参加者) 桑村本部長、松本統括副本部長

神野副本部長、清水CMO ほか4名



<セミナータイトル画面>

「エコツーリズムを通じた地域の宝探しと持続的な発展 in 四国」の勉強会に参加

(マーケティング)

9月10日（火）、四国経済産業局が主催する「エコツーリズムを通じた地域の宝探しと持続的な発展 in 四国」の勉強会に参加しました。

勉強会では、講師の海津ゆりえ氏（文教大学国際学部国際観光学科教授）から、エコツーリズム・サステナブルツーリズムの事例などをご紹介いただきながら、地域づくり、地方創生と経済・産業・観光との関わり方などについて分かりやすく解説いただきました。

海津教授は、「エコツーリズム」が、観光を通じて、地域の自然や生活文化、人などの「宝」を活用・保護・継承させながら、地域の持続的な発展に寄与できるとして、調査研究と教育普及・支援に取り組んでこられた、エコツーリズム・サステナブルツーリズムの第一人者で、四国域内の取り組みについても「宝探し」とであると称して、大きな期待と評価をいただきました。

今回の勉強会は、インバウンド、特に欧米の富裕層からの関心が高い「持続可能な観光」や、地域活性化として観光に取り組む四国の関係機関や当機構にとって大変参考となるものでした。

（開催日時）2024年 9月10日（火）16:00～17:00

（開催場所）四国経済産業局 607会議室

（機構参加者）桑村本部長、長谷部チームマネジャー
鎌田チームマネジャー、大上マネジャー



<勉強会の様子>

GSTCサステナブルツーリズム研修（広島開催）に参加

(マーケティング)

9月18日（水）から20日（金）の3日間、広島県広島市内で（一社）せとうち観光推進機構とGSTC（グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会）が開催した「GSTCサステナブルツーリズム研修プログラム」に参加しました。同研修は、先月、香川県高松市内で、当機構も実施した研修ですが、今回は（一社）せとうち観光推進機構と当機構が進める連携の一環で参加させていただくことができました。

研修では、講師の二神真美氏（名城大学外国語学部名誉教授、GSTC公認トレーナー）の解説でGSTC基準を学ぶとともに、ゲストスピーカーによる講話（講師：（株）mint代表取締役 石飛聡司氏、内容：「地域の魅力をサービスとして提供する“サステナブル”：「sokoiko！」のサイクリングツアー」）やフィールドワークを通じて、実地での基準の適用のあり方や実践例などについて理解を深めました。

▶ フィールドワークの内容と実施場所

- ① JNTOカテゴリー 3 認定「外国人観光案内所」での取り組み
… 広島駅総合案内所
- ② サクラクオリティ認証ホテルでの環境保全等の取り組み
… グランドプリンスホテル広島
- ③ 世界遺産での文化遺産保護等の取り組み … 原爆ドーム

（開催日時）2024年 9月18日（水）～20日（金）

（開催場所）広島市平和記念公園レストハウス 3 Fほか
（広島県広島市）

（機構参加者）長谷部チームマネジャー、藤井マネジャー



<フィールドワークの様子>

ツーリズムEXPOジャパン2024に出展

(マーケティング)

9月26日(木)から29日(日)の4日間(※)、東京ビックサイト(東京都)で開催された、日本最大の観光産業イベント「ツーリズムEXPOジャパン2024」に、四国4県、四国旅客鉄道(株)、本州四国連絡高速道路(株)と共同で、四国ブースを出展しました。なお、東京での開催は2022年以来の2年ぶりとなります。

※業界関係者向け開催日:26~27日、一般開催日:28~29日。

業界関係者向け開催日には、当機構は14社と商談を行い、旅行商品の造成や観光PRのための最新情報の提供や意見交換を行いました。また、一般開催日には、各団体により、四国名産品の試食・試飲の実施、ゆるキャラとの写真撮影、アンパンマンシートでの写真撮影、インフラVRツアー、ノベルティの配布など様々な催しを行い、多くの来場者に四国ブースを楽しんでいただきました。当機構は、四国遍路日本遺産協会のご協力のもと、お遍路さんスタイルが味わえる白装束や菅笠の試着など「四国遍路」を中心にPRを行い、ご好評をいただきました。また、持続可能な観光に取り組む地域を紹介する展示を行うなど、四国に興味関心のある来場者に幅広くPRとコミュニケーションを図ることができました。なお、開催期間中は、せとうち観光専門職短期大学の学生2名にも、四国ブースでのPRにご協力いただきました。

今回のEXPOでは、開催期間の4日間に約18万人が来場され、多くの来場者に四国の魅力を発信することができました。引き続き、関係機関との連携を図りながら、四国への誘客に取り組んでまいります。

(実施日時) 9月26日(木)~29日(日)

(実施場所) 東京ビックサイト(東京都)

(機構参加者) 桑村本部長

松本統括副本部長

竹内チームマネジャー

佐伯マネジャー ほか2名

(協力) 四国遍路日本遺産協会

せとうち観光専門職短期大学の学生



<PRの様子>



<お遍路さん体験の様子>

第27回JNTOインバウンド旅行振興フォーラムに参加

(マーケティング)

9月5日(木)から6日(金)の2日間、日本政府観光局(JNTO)が開催した「JNTOインバウンド旅行振興フォーラム」に参加しました。

フォーラムは、JNTO海外事務所長による各市場の最新情報やターゲット層に関する講演、パネルディスカッションでのインバウンド向け地方誘客事例紹介など多岐にわたる内容でした。

また、個別相談会では、ローマ事務所、トロント事務所、広州事務所の各所長に、日本市場に強い旅行会社の聞き取りなどを実施するとともに、調査・マーケティング統括グループの担当者とコロナ前後におけるインバウンドの推移などについて教えていただきました。

講演会後に開催された交流会では、JNTO各所長らと積極的に名刺交換を行いながら、これまでに実施した四国への招請事業のお礼や今後の実施・検討状況などについて、広く意見交換を行い、交流を深めることができました。今回得られた知見や関係などを活かして、今後のインバウンド誘客の施策に繋げてまいります。

(開催日) 2024年9月5日(木)~6日(金)

(開催場所) 品川プリンスホテル アネックスタワー5階 プリンズホール(東京都)

(機構参加者) 清水CMO、鎌田チームマネジャー、大上マネジャー

※写真撮影不可のため
写真掲載はできません。

アドベンチャートラベルガイドに関する各種研修を実施

(マーケティング)

9月6日(金)、ガイドや地域の観光関係者などを対象に、アドベンチャートラベル(以下、AT)に関する基礎知識の習得を目的とした「基礎知識研修」を実施しました。研修では、(株)ウェルネスデザインの石山直氏と北海道知事認定ATガイド第1号の馬上千恵氏を講師にお迎えして、ATの概論やATガイドの役割などについてお話をいただきました。受講者からは、「ATガイドになるために習得しなければならないスキルや知識が具体的に分かった。」など、ご好評をいただくことができました。

また、9月20日(金)～23日(月)には、2コース(愛媛県・高知県コース、香川県・徳島県コース)に分かれて、昨年度当機構が作成したATのモデルコースを利用して、ATスルーガイドの「実地研修」を実施しました。研修では、基礎知識研修に引き続き、馬上講師による英語でのロールプレイングを通して、参加者同士が互いに気づきを得ながら、ガイディングスキルの向上を図りました。

今後も、地域の関係者と連携しながら、アドベンチャートラベルをフックとした四国へのインバウンド誘客を推進するために、ガイドの育成など各種施策に取り組んでまいります。

(実施日／実施場所／参加者数)

基礎研修：2024年9月6日(金)／高松センタービル(香川県高松市)／61名 ※オンライン含む。

実地研修：2024年9月20日(金)～21日(土)／愛媛県・高知県コース(※)／5名

2024年9月22日(日)～23日(月)／香川県・徳島県コース(※)／5名

※主な研修場所：愛媛県・高知県コース … 第45番札所岩屋寺、四国カルスト、かみこや(和紙作り体験)、中津溪谷
香川県・徳島県コース … 第71番札所弥谷寺～第77番札所道隆寺、松浦酒造、福寿醤油

(機構対応者) 鎌田チームマネジャー、大上マネジャー



<基礎知識研修の様子>



<実地研修の様子①：四国カルスト>



<実地研修の様子②：善通寺>

JAL麗らか四国キャンペーン

欧州旅行会社を招請した四国視察旅行を実施

(マーケティング)

9月10日(火)から14日(土)の5日間、当機構が日本航空(株)(以下、JAL)とタイアップして実施する、今年で20周年を迎えた「JAL麗らか四国キャンペーン」の一環として、イギリスの旅行会社3社とJALロンドン支店を招聘した四国視察旅行(FAMツアー)を実施しました。同キャンペーンは、これまで国内誘客を対象に実施していましたが、昨今のインバウンド需要の高まりや大阪・関西万博の開催などを見据えて、今年度からインバウンドも対象に取り組んでおります。

視察旅行では、今後の四国を周遊する旅行商品造成に繋げていただくよう、四国遍路、サイクリング、藍染体験、酒蔵見学といった四国の文化・自然・アクティビティ・食などを中心に体験いただきました。また、愛媛県と香川県での行程では、JAL客室乗務員の「JALふるさとアンバサダー」にもアattendいただきました。

今後はアフターフォローを行い、欧州旅行者の誘客に努めてまいります。

(実施日時) 2024年9月10日(火)～14日(土)

(機構参加者) 松本チームマネジャー

次ページへ続く

(視察先) ※行程順

- <愛媛県> しまなみ海道（サンライズ糸山～多々羅しまなみ公園）
道後hakuro など
- <高知県> にこ淵、かつお船（薫焼き体験）、竹林寺（瞑想体験）
高知城、ひろめ市場 など
- <徳島県> 大歩危峡観光遊覧船、かずら橋
脇町（うだつの町並み、藍染体験）
安楽寺宿坊（勤行体験） など
- <香川県> 直島（地中美術館、ベネッセハウス など）
小豆島（ホテルベイリゾート小豆島、二十四の瞳映画村
醬の郷、森國酒造、ヤマロク醤油、小豆島オリーブ公園 など）



<しまなみ海道>



<竹林寺での瞑想体験>



<藍染体験>



<酒蔵見学>

VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2024 (VJTM2024) に出展 (マーケティング)

9月26日（木）から28日（土）の3日間、「ツーリズムEXPOジャパン2024」と同時に開催された、日本政府観光局（JNTO）主催の日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2024」（以下、VJTM2024）に出展しました。

開催期間中、当機構は19カ国・地域30社の海外旅行会社と商談を実施しました。これまでは、いわゆるゴールデンルートを中心に送客を行ってきた旅行会社においても、観光客が少ない地方部で、日本らしさを体験できる旅先を求め始めているとのことで、新たな旅先の候補として四国にも興味があり、「四国について、もっと知りたい。今後商品として検討していきたい。」という声も伺うことができました。

今回の商談を踏まえ、アフターフォロー等により、海外からの四国への誘客促進につなげてまいります。

(実施日) 9月26日（木）～28日（土）

(開催場所) 東京ビッグサイト（東京国際展示場）（東京都）

(参加者数) 海外バイヤー 約280社、国内セラー 300社・団体

(当機構商談先)

19カ国・地域30社。商談先の国・地域は以下のとおり
イギリス、フランス、ドイツ、スペイン、イタリア、オランダ、ベルギー
スウェーデン、デンマーク、アメリカ、カナダ、メキシコ、オーストラリア
ニュージーランド、シンガポール、タイ、台湾、香港、中国本土
(機構参加者) 松本チームマネジャー、鎌田チームマネジャー



<商談の様子>

【お知らせ】四国観光・旅アプリ「しこくり」参画事業者の募集

(マーケティング)

当機構では、四国周遊の促進と観光消費額の向上を目的に、四国観光・旅アプリ「しこくり」を展開しています。「しこくり」の5つの機能により、四国での観光・レジャーをおトクに便利にお楽しみいただくことができます。

▶しこくりの5つの機能

- ① **観光スポット紹介機能**：四国内の観光スポットや体験・レジャーなど700か所以上を検索できます。
- ② **「旅ばす」機能**：専用ポイント「旅ばす」を購入することで、四国の観光施設・飲食店・お土産店、日帰り入浴施設などをおトクに利用できます。(9月30日時点で205施設利用可能。)
- ③ **「デジタルチケット」機能**：交通機関の乗船・乗車やイベントなどのチケットを事前にキャッシュレスで購入することができます。(9月30日時点で17商品購入可能。)
- ④ **「デジタルきっぷ」機能**：JR四国の特別乗車券が購入できます。
- ⑤ **「地域のおすすめ」機能**：「特集 地域のおすすめを見る!」から特定地域のコンテンツをまとめた特集を閲覧いただけます。

当機構では、「しこくり」ユーザーの皆さまに、より四国観光を楽しんでいただけるよう「旅ばす」(※)や「デジタルチケット」を利用いただける、**新規ご参画事業者さまを募集**しています。対象の事業者や施設(四国に拠点を有するものに限りまゝ)は次のとおりです。

- ・観光施設、体験・レジャー施設
- ・飲食店(例：地元食材を使用した料理、郷土料理、B級グルメを提供しているお店 など)
- ・土産店 ・日帰り入浴施設 ・交通事業者(例：ロープウェイ、観光バス、観光タクシー など)

また、既に参画いただいている場合であっても、商品の追加なども受け付けております。

※「旅ばす」は1施設3コンテンツまで掲載登録可。「デジタルチケット」は掲載登録数に制限なし。

※「旅ばす」では、提供商品の定価と「旅ばす」購入金額の差額が発生する場合、差額分の割引きをお願いしております。詳細は、お問合せいただいた後に説明させていただきます。



連絡先：info@shikoku-tourism.com

(担当：竹内チームマネジャー、別宮マネジャー、佐伯マネジャー)

参画事業者募集のお知らせ
「しこくり」の概要の詳細等は
こちらからご覧いただけます。

城西国際大学観光学部の学生による視察を受け入れ、意見交換を実施

(その他)

9月12日(木)、千葉県城西国際大学観光学部の佐滝教授と学生10名が、ゼミ研究の一環で、四国を視察訪問し、四国運輸局観光部と当機構の取り組みなどについて、意見交換を行いました。今回の訪問は、事前にゼミ内で実施した学生のプレゼンテーションで、全国から四国に決定したとのことで、3泊4日の行程で善通寺や金刀比羅宮、大歩危祖谷、大洲市、松山市などを視察する予定とのことでした。

当機構へは四国各地を巡る前にご訪問いただき、四国運輸局と共同で運輸局の取り組みと当機構の取り組み(インバウンド誘客、アドベンチャートラベル、持続可能な観光の推進、四国遍路 など)などについて意見交換を行いました。引き続き、当機構では、四国の魅力発信や観光促進に資する視察などについても、積極的に受け入れてまいります。

(実施日時) 2024年9月12日(木)

(実施場所) 四国運輸局 会議室

(機構参加者) 桑村本部長、松本統括副本部長 ほか2名



<学生との意見交換の様子>

今月のオウンドメディア情報等

(清水CMOからの情報)

当機構では、アドベンチャートラベルに注力しておりますが、今月は、これらとの親和性もある「ウェルネスツーリズム」(※)の四国での可能性についてご紹介します。

※「ウェルネスツーリズム」は、ヘルスツーリズムに含まれる旅行類型の一つです。

ヘルスツーリズムは、治療を目的とする「メディカルツーリズム」と、予防を目的とする「ウェルネスツーリズム」に大別できます。

アドベンチャートラベル



定義：2つ以上を含む自己変革をもたらす旅行
市場：北米、欧州、豪州

市場規模約96兆円(2017年)

1ドル140円で算出(※1)

ヘルスツーリズム

メディカルツーリズム(治療目的)

- ・がん手術 ・臓器移植
- ・再生医療 ・MRIとCT利用の治療
- ・美容形成手術 ・視力矯正
- ・性別適合手術 など(※2)

ウェルネスツーリズム(予防目的)

定義：人間の生活のすべての領域を向上させ、バランスをとることを目的とした旅行(※3)

具体例：

- ・温泉(湯治) ・スパ
- ・健康的な食事 ・先住民の植物療法
- ・ヨガや瞑想 ・巡礼 ・交流 など

市場：北米、欧州

市場規模約90兆円(2022年)

1ドル140円で算出(※4)

定義にも親和性があり、ともに市場規模が大きい。

【参考】

- (※1) [Adventure Travel Trade Association \(ATTA\)](#)
- (※2) [株式会社ANA総合研究所](#)
- (※3) [UNWTO](#)
- (※4) [Global Wellness Institute](#)

新・湯治



※画像をクリックすると遷移します。

現在、環境省でも「新・湯治」として温泉地の活性化を目指している。

ウェルネスツーリズムでも列挙される「温泉(湯治)」と「巡礼(四国遍路寺)」を地図上にマッピングすると、四国の広範囲を網羅しています。

四国遍路寺と温泉地



※左記、地図をクリックするとGoogleマイマップに遷移します。コピーするなど、ご自由にご利用ください。

※温泉地は、[\(一社\)日本温泉協会](#)のHPを参考にしています。

ウェルネスツーリズムにおいて、四国の切り口として「四国遍路(Shikoku Pilgrimage)」と「温泉(Hot spring)」からの訴求可能性もある。

当機構でもホームページ上で[温泉特集](#)を制作するなど、新しい切り口での四国への誘客を訴求してまいります。

